

◎アン普拉グ錠, ○サルボグレラート錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】サルボグレラート塩酸塩 Sarpogrelate Hydrochloride 【分類】抗血小板剤 [5-HT<sub>2</sub> ブロッカー]

【単位】◎100mg・▼50mg/錠

【常用量】300mg/日 ■高齢者は150mg/日から開始を考慮 (1)

【用法】分3食後

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【その他の報告】排泄に影響するおそれがあるため重篤な腎障害患者には慎重投与 (1)

【特徴】慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛および冷感等の虚血性諸症状の改善に適用される抗血小板剤。血小板膜上の5-HT<sub>2</sub>受容体を遮断してセロトニンによる血小板凝集の増強を抑制し、セロトニン刺激による血管収縮を抑制する。コラーゲン等の凝集惹起剤による血小板凝集抑制を抑制するほか、セロトニンにより増強された血小板を強く抑制する。赤血球変形能を高め血小板凝集に伴う血管収縮を抑制する。

【主な副作用・毒性】消化器症状、無顆粒球症、血小板減少、肝機能障害、出血傾向、過敏症、蛋白尿など

【F】尿中回収物と代謝物量より50%以上と推測 (1)

【tmax】未変化体：0.7~0.9hr, M1：1.1hr (1)

【代謝】肝で脱エステル化され主代謝物M-1 (活性体) となりその後水酸化、脱メチル化される (1) M1の活性は未変化体の約10倍 (1) M-1は複数のCYPで代謝 (1)

【排泄】尿中回収率44.5%でそのほとんどが抱合体 [po, 24hr まで] (1) 糞便中に代謝物として4.2%回収 (1)

【CL】3.03±0.92L/kg/hr (1)

【t1/2】未変化体：0.7hr, M-1：2.7hr (1) 【Kel】1.05/hr (1)

【蛋白結合率】95%以上 (1)

【Vd】3.01±1.1L/kg (1)

【MW】465.97

【透析性】非透析日と透析日で薬物動態に差がない (1) HD クリアランス：未変化体は0.84mL/min, M-1は2.54mL/min と小さい (1)

【O/W 係数】49 [クロロホルム系, pH7] (1) 【pka】3.74, 8.45 (1)

【相互作用】抗凝固剤、抗血小板剤と併用注意 (1)

【備考】出血を伴う検査・手術前の1~2日前に中止する。

【更新日】20240530

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。